



広報

まつやま

主な内容

- 住宅用火災警報器の設置を …3面
- 第16回はがき歌全国コンテスト受賞作品 …4面
- 市民ガイド ……5~6面
- トライアスロン中島大会選手など募集 …8面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

市勢 平成23年4月1日現在推計(前月比) ●面積:429.04km² ●人口:514,926人(-1,533) ●男:240,625人 ●女:274,301人 ●世帯数:228,351世帯(-15) ●1世帯の平均:2.25人 ●人口密度:1,200人/km²



本木雅弘 トークライブ

参加者募集

子規博開館30周年を記念し、俳優の本木雅弘さんをお迎えして、天野名誉館長を聞き手としたトークライブを開催します。

【日時】6月5日(日)14時~15時30分(開場13時30分予定)

【会場】子規記念博物館4階講堂

【定員】550人(応募多数の場合は抽選)

【料金】無料(入場券が必要)

【応募方法】5月21日(土)(必着)までに、往復はがきの往信裏に住所、氏名、電話番号、入場券希望枚数(2枚まで)を、返信表に郵便番号、住所、氏名を書いて〒790-0857道後公園1-30子規記念博物館「本木雅弘トークライブ」係へ ※記入項目がない場合は無効です。また申し込み後の希望枚数の変更はできません



デザインを見ても楽しめる特別企画展のポスター

「どころでことばは元気かな」



多くの出席者で祝った記念式典

俳人、正岡子規を通し文学や歴史を新たな文化の創造につなげてきた「子規記念博物館」。開館30周年を迎えた4月2日に同館で開催された記念式典には約480人が参加し、子規の業績や博物館の役割を再認識しました。

道後公園の桜の開花とともに年を刻んできた子規記念博物館は、昭和56年4月2日に開館し、今年で30歳。子規の業績を後世に残すほか、小学生から高齢者まで幅広く俳句や言葉の楽しさを伝えるなど、世代を超えた言葉の魅力作りも進めてきました。式典で野志市長は「子規博は松山市民の大切な財産であり誇りです。松山にあれば元氣な言葉に出会えることを国内外に発信したい」とあいさつ。市長、中村県知事、天野名誉館長による子規博の思い出話、竹田館長による子規と漱石らの交友録などの講演、久米小児童による言葉の合唱

子どもが興味持てる博物館へ



九鬼 みつ実 (椿小5年)

子規博に来て一番印象に残っているのは、展示室にある子規さんのかばんに書かれた「山雨海風」の文字です。

これを見ると子規さんの「がんばるぞ」という気持ち伝わってきます。子規さんの俳句で一番好きなのは「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」。これからも子どもが興味を持てる博物館になってほしいし、子規さんがもつと有名になるといいな。



開館の年に開催された特別企画展「子規の絵」(左)と第2回特別企画展「虚子-遍歴の青春」の図録



天野 祐吉 名誉館長

松山の名産は「ことば」

松山は食べ物がおいしく、温泉もありがたいものだらけの街ですが、特に「ことば」がよい街です。だからわたしは松

山の名産といえは「ことば」と言っています。松山には言葉の名人、正岡子規がいました。今、子規さんが生きていたら、こう言うんじゃないかな、と。ここでことばは元気かな、と。言葉を守ることが松山を守ることであり、子規博の30年がその役割を果たしたのではないのでしょうか。

さまざまな記念企画

30周年となる今年度は多くの記念企画を準備しています。春から夏には特別展や特別企画展を、秋から冬には「子規没後110年祭」の開催や6万点にも及ぶ博物館所蔵品のえりすぐりを写真付きで紹介する「子規博物館蔵名品集(仮)」、子規が友人らの俳句を記した「なじみ集」の翻刻集の出版販売などを予定しています。

30年の歩み

昭和56年	4月2日	開館
昭和63年	4月4日	司馬遼太郎氏講演
昭和63年	5月14日	入館者100万人達成
平成5年	11月7日	天皇・皇后両陛下ご来館
平成13年	「子規100年祭」in松山開催	
平成15年	5月	道後寄席開催
平成21年	11月25日	「なじみ集」購入
平成22年	4月1日	指定管理者制度導入
平成22年	11月16日	入館者400万人達成



お問い合わせは、(教子規) 子規記念博物館 ☎9315566・FAX 9343416へ